

表 全国統一電力市場システムの整備に関する実施意見で示された主要な取り組み

【全国規模で電力資源の最適配分を推進】		
(一)	全国統一電力市場システムのロードマップを最適化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中央と地方、政府と企業の連携を強化。</li> <li>・省間・地域間取引と省内取引の統合を調整・推進し、市場障壁を撤廃。</li> <li>・登録、申告、清算、情報公開を有機的に統合。</li> <li>・電力取引プラットフォームの相互接続と取引情報の共有・相互承認を推進。</li> <li>・条件が満たされた際に、国家電力取引センターの設立を検討。</li> </ul>
(二)	省間・地域間電力取引システムの整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国家电网と南方電網の事業区域間で市場取引チャンネルを構築。</li> <li>・十分な能力と合理的な流動性を備えた送電チャンネルと電力網の基幹ネットワークを構築。</li> <li>・安全確保を前提に、省間・地域間発電の優先発電規模計画を科学的に手配。</li> <li>・省間の自主的な市場化送電規模を合理的に拡大。</li> </ul>
【電力市場のさまざまな機能の改善】		
(三)	価格把握と需給調整をより効果的に行うためのスポット市場を全面的に構築	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポット市場におけるリアルタイム価格の把握、需給の正確な反映によって電力資源の最適配置を適切に誘導。</li> <li>・2027年までにスポット市場の正式運用開始。</li> <li>・発電側と消費側の両者が数量と価格の見積書を提出することによる電力市場への参加を奨励。</li> <li>・電力供給責任を明確に定め、履行することを前提に、省間スポット取引の利用を促進。</li> <li>・スポット市場と他の市場との取引タイミング、価格、決済の連携を強化。</li> </ul>
(四)	中長期市場の整備を継続的に進め、電力の安全と安定供給を確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中長期市場の基本的役割をより一層発揮し、電力供給安全保障の基盤を強化。</li> <li>・中長期契約の締結や履行に対するインセンティブと制約措置を実施。</li> <li>・中長期市場の精緻化、標準化の推進、市場の継続的な運営、取引中断の防止を実現。</li> <li>・標準化された、柔軟で効率的な中長期契約の調整や譲渡のシステムを構築・整備。</li> </ul>
(五)	電力システムの柔軟な調整を支えるアンシラリーサービス市場の発展を加速	<ul style="list-style-type: none"> <li>・周波数調整アンシラリー（補助）サービス市場の発展を標準化。</li> <li>・地域の状況に応じた新たなアンシラリーサービス商品を模索。</li> </ul>
(六)	グリーン電力市場を整備し、より良い環境価値を実現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全国統一グリーン証書市場の整備。</li> <li>・再生可能エネルギー電力の生産、消費、環境属性識別の基礎証明書としてのグリーン証書の役割をさらに強化。</li> <li>・グリーン電力の消費規模を拡大し、強制消費と自主消費を合わせたグリーン電力証書消費制度の確立を加速。</li> <li>・グリーン証書価格のモニタリングを強化し、グリーン証書価格が合理的な水準で運用されるよう指導。</li> <li>・発電側と消費側の間での中長期グリーン証書購入契約の締結を促進。</li> <li>・グリーン電力取引を通じて、省間新エネルギー重点発電規模計画の実施を奨励。</li> <li>・農林業バイオマス発電プロジェクトの全国自主温室効果ガス排出削減取引市場への参加を検討。</li> <li>・グリーン電力消費認証メカニズムの構築を加速。</li> <li>・グリーン電力消費のトレーサビリティを継続的に強化。</li> <li>・中国のグリーン電力消費標準の国際化を推進。</li> </ul>
(七)	容量市場を構築し、信頼性の高い調整電源の建設を支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・石炭火力、揚水発電、新エネルギー貯蔵などの調整電源の容量価格設定メカニズムをさらに改善。</li> <li>・統一基準に基づいた電力系統の信頼性の高い容量による補償を研究。</li> <li>・条件を満たした地域で競争入札を通じた容量価格設定を模索。</li> <li>・石炭火力など調整電源の持続可能な発展を効果的に保証し、供給保証能力を強化。</li> </ul>
(八)	標準化され、秩序立った、利便性の高い効率的な小売市場を構築	<ul style="list-style-type: none"> <li>・卸売と小売の価格転嫁を容易にし、消費者保護を前提に、需要側資源のシステム調整への主体的参加を誘導。</li> <li>・小売市場の取引ルールを策定し、小売市場における全プロセス監督、情報開示、リスク管理を強化。</li> <li>・電力販売会社の標準化管理を強化、電力販売会社の管理規則を改正。</li> <li>・電力販売会社が総合エネルギーサービスプロバイダーへと転換・アップグレードするよう誘導。</li> </ul>
【あらゆる事業体の電力市場への平等かつ幅広い参加の促進】		
(九)	発電事業者の電力市場への参加をさらに促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新エネルギーの持続的発展のための価格決済メカニズムを実施。</li> <li>・新エネルギー企業とユーザーとの複数年取引を奨励。</li> <li>・「砂漠・ゴビ砂漠・荒地」新エネルギー基地における各種電力の電力市場への全面的参加を促進。</li> <li>・分散型電源によるシステム調整コストの公平な分担を推進。</li> <li>・集約取引、直接取引などのモデルを通じて分散型新エネルギーの市場参加を支援。</li> <li>・石炭火力発電所の運転様式をさらに最適化し、発電所の起動形態とピークカットを合理的に決定。</li> <li>・エネルギー安全保障の確保を前提に、ガス火力、水力、原子力などの電力市場への段階的な参入を促進。</li> <li>・原子力の低炭素価値を反映した制度構築を検討し、大気汚染警報発令時に石炭火力の電力取引量削減を奨励。</li> </ul>
(十)	電力市場に参加する需要側事業者の範囲を拡大	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電力購入代理業務の決済手段や評価制度を改善し、電力網による代理電力購入規模を段階的に縮小。</li> <li>・電力需要側の開発・利用を促進し、需要側がそれぞれの資力に応じて電力市場に参加することを奨励。</li> </ul>
(十一)	新しいタイプの事業体の電力市場への参加を秩序正しく促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全確保を前提に、新しい事業形態の電力市場への柔軟な参加を促進。</li> <li>・新しい事業形態の監督管理に関する標準の制定と改訂を加速。</li> <li>・新しい事業形態の社会的責任など公平な分担を促進し、必要に応じて政府資金と賦課金の支払いを確保。</li> <li>・新しい事業形態が合理的に投資し、標準化された運営を行い、健全に発展するよう誘導。</li> </ul>
【統一された電力市場システムの制度設計】		
(十二)	電力市場ルールシステムの統一	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電力市場基本ルールシステムを継続的に整備。</li> <li>・地方政府が地域の実情に応じて実施規則を制定するよう指導し、地方ルールと国のルールの整合と統一を強化。</li> <li>・電力市場ルールの起草、改訂、審査、公布に関する業務手順を標準化し、定期的な改訂制度を確立。</li> </ul>
(十三)	電力市場ガバナンス体制を整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電力市場ガバナンス体制を整備し、ガバナンスレベルを全面的に向上。</li> <li>・全プロセスにおける複数部門による協調監督を強化し、市場・業界・国有資産監督の有機的な融合を促進。</li> <li>・電力市場取引への地方による不適切な介入を是正し、地方保護主義と市場細分化の排除を推進。</li> <li>・デジタル化などを活用し、価格談合や市場支配力の濫用など、電力市場秩序を乱す各種行為を是正。</li> <li>・市場参入ネガティブリスト以外の電力市場参入条件を設定しない。</li> </ul>
(十四)	電力価格決定メカニズムの改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>・需給を主因とする電力価格決定メカニズムを改善し、市場価格が電力資源の多面的価値を反映するよう促進。</li> <li>・全国統一の電力料金政策と市場価格リスク防止・抑制システムを構築・整備。</li> <li>・地方の電力価格管理慣行の標準化をさらに進め、地方政府による優遇電力価格政策の違法導入を禁止。</li> <li>・地域・省レベルの送電網の送電・配電価格体系を整備し、省・地域をまたぐ特定プロジェクトの送電価格を標準化。</li> <li>・条件が満たされた際に、二部制料金または単一容量料金の実施を検討。</li> </ul>
(十五)	電力市場技術基準の統一	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主要な技術フレームワーク、コアデータモデル、情報開示項目、情報交換基準、管理システム規範を統一。</li> <li>・基本標準、一般標準、アクセス標準、業務標準、運用標準、評価基準を継続的に改善。</li> <li>・事業者のアクセス、市場情報開示、取引決済、データモデル開発などの分野で標準化を実現。</li> </ul>
(十六)	全国統一電力市場信用システムを構築	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電力市場信用情報の統一的な収集、共有、相互接続を促進。</li> <li>・統一された評価基準に基づいた信用評価の実施を奨励・支援。</li> <li>・誠実で信頼できる電力市場環境を構築。</li> </ul>
【政策協調の強化】		
(十七)	電力計画と電力市場の連携・協調を強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電力計画制度の市場環境への適応を促進し、電源計画の配置と系統計画の協調的発展を効果的に指導。</li> <li>・地方電力計画は国家電力計画に準じて策定されるものとする。</li> </ul>
(十八)	緊急対応およびリスク予防・管理体制の構築を強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電力市場の緊急対応体制を構築。</li> <li>・政府部門と電力規制機関が電力市場運営者に市場介入を認可する際の適用状況、範囲、方法を明確化。</li> <li>・事故や災害、電力バランスの重大な混乱、運営主体による違法な価格混乱などに対応。</li> <li>・リスク監視、早期警戒、制御プロセスを強化し、給電や負荷制御などの緊急対応措置を策定。</li> </ul>
(十九)	電力市場評価システムを構築	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電力市場評価のための定量的な指標と評価方法を策定。</li> <li>・独立した第三者機関と電力取引機関の電力市場評価への参加を奨励。</li> <li>・各地域の電力市場の建設と運営状況を公表。</li> <li>・各地域の電力市場の比較と経年的な進捗状況の分析を強化。</li> <li>・経験の共有を促進し、評価結果に基づいて全国統一電力市場システムを継続的に改善。</li> </ul>
【リーダーシップの強化】		
(二十)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・中国共産党中央委員会の集中的かつ統一的な指導の下、協調と協力を強化し、本実施意見を着実に推進。</li> <li>・国家発展改革委員会と国家エネルギー局は関係各方面と連携し、総合的な調整を強化し、支援政策を整備。</li> <li>・関係者が電力市場の構築と運営に積極的に参加するよう指導し、各種政策措置の効果的な実施を促進。</li> </ul>

（出所）国务院弁公庁「全国統一電力市場システムの整備に関する実施意見」（国弁発〔2026〕4号）